

どうして、田舎にハイテク？

インスピレーション、想像力、好奇心



なぜ外国人が、人口がたった500人の島根県の小さな町にCoderDojoを開こうと思うのでしょうか。ご質問いただき、私の想いをご紹介する機会を下さってありがとうございます。もし、自分のCoderDojoの為にも色々ないいアイデアがあったら、幸いです。

では、名前から始まります。

道場の意味

CoderDojoの登録は、もちろん始まりに過ぎません。なぜDojoという言葉がCoderDojoに使われているか不思議に思ったことはありません。CoderDojoの創設者の一人であるBill Liaoは、CoderDojoについての非常に面白いビデオの最初にこう述べています：

[CoderDojoドキュメンタリー](https://youtu.be/_bjboMjNr9Q) : https://youtu.be/_bjboMjNr9Q

Dojoとは、日本語で学ぶための寺を意味します。空手道場では、空手を学びます。剣道道場では、剣道を学びます。剣道は非常に面白い例です。なぜならば、700年の間、剣道は世界中で、無料で学ぶことができたからです。無料な学習環境は、実は西欧の学校システムよりも古いのです。そこが私が好きな点です。

お分かりの通り、CoderDojoの名前は、700年前に遡る伝統的な道場のポジティブさから選ばれました。

日本人以外の友人に尋ねても、道場は様々な理由で何か特別な目で見られているようです。例えば、一年の最も大切なイベントが、和歌山に来て、合気道道場に参加することである人を知っています。

だから、伝統的な道場について、CoderDojoのためになるこれまで以上の点がないかを考えています。

道場の連想

日本人の友達

- 道場は古い価値観として見られている
- 日本の伝統的なスタイルで人を訓練をする場所
- 日本語では、伝統的、保守的、そして厳格な印象がある

FacebookやTwitter上の友人に、道場という言葉聞いて何を思い浮かべるか尋ねてみました。日本人の友人からその感じな返事が届きました。



こんな感じですね。CoderDojoのようではなく、学校のような感じですね。

道場の連想

国際の友達

- 道場は興味のあることを練習する場所
- 道場コミュニティは重要
- 場所や人々への尊重
- 学びをできるだけ楽しく、興味深いものにする場所

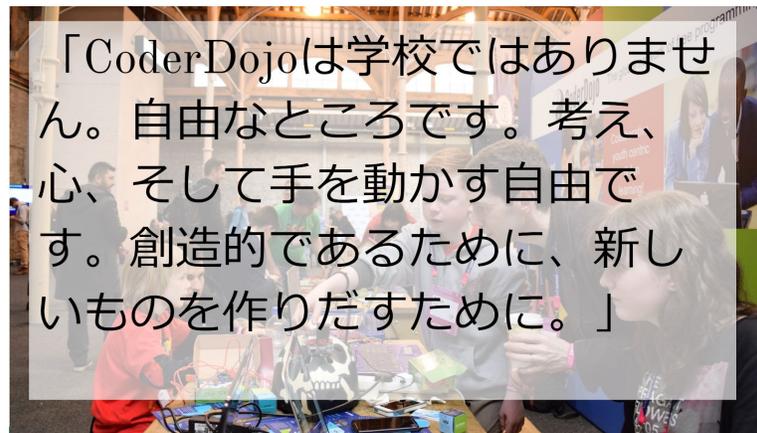
次は、私の日本人以外の友人が道場という言葉聞いた時に連想することの概要です。



例えばこのようになりますよね。不思議なのは、返事を送った人たちがCoderDojoを知ることがありません。

しかし、道場とCoderDojoには1つの大きな、そして重要な違いがあります。ここでは、先生の言うことを聞いて覚えるのではなく、忍者が何を学ぶかを決め、忍者が自分自身で何がすべき

正しいことかを体験しなければなりません。常に好奇心を持ち、試しながら物事の仕組みを学びます。そして先輩/後輩の序列はありません。



Bill Liao の言葉もう一度引用しましょう。



写真では、忍者が自分の成果をメンターに説明しています。メンターは、忍者の成果を真剣に誉めて、次のステップのために忍者にアイデアのヒントを与えています。



ところで、コーディングはコンピューターから離れたところで大部分が行われることがあります。これらの子供達が、作りたいゲームを話し合っているように。ゲームは、木と紙からできています。そして彼らは立って話しています。座っているよりもいいものです。



しかし、伝統的な道場とCoderDojoの間には共通点が1つあります。忍者は努力をする必要があります。コーディングは簡単ではありません。しかし、間違いなく学ぶ価値があります。



CoderDojoは世界中あるのはものすごく素晴らしいです。世界中たくさん人々が、学ぶことができるだけ楽しく、興味深いものにするために努力しています。誰かどこか資料を作っていたなら、誰でもそのまま無料で使えます。どこまでもつなぐことがとても簡単です。つまり、CoderDojoのおかげで、宅野で、小さな村でも、その世界の部分になります。こんなコミュニティの一部になれるのは何よりです。



よろしければ、ちょっとお勧めしたいものがあります。このロボット、DJI Robomaster S1が普及しつつあります。これと格闘するために時間を費やすより、このロボットのためにコーディングをしてはどうでしょうか。そしてどのコードがより効果的か、別の忍者と競い合うのです。同じCoderDojoの他忍者とだけでなく、世界のどこかのCoderDojoにいる他の忍者達と競い合うのです。

さらに良いのは、自分のロボットを組み立てて、より多くの実験の機会を作り出すのはどうでしょうか。

目的

道場は、学ぶ場であり空間と定義されていますが、実際に何を学ぶべきでしょうか。

(1) 学ぶことを学ぶ

—すべてが加速しながら変化しています。

一度学んでそれが一生変わらないでいるという時代は終わりです。新しい概念を簡単に学ぶために、1つの事を学ぶのではなく、基礎を理解することが不可欠です。

例えば：

Microsoft Wordではなく、テキスト処理を学ぶ。ワードプロセッシングの基本はどのワープロでも同じです

(2) コミュニケーションと協力の仕方を学ぶ

先ほどとおり、CoderDojoコミュニティは世界的なコミュニティです。フレンドリーで幸せな場所です。しかし、それはさらに大きなコミュニティであるオープンソースコミュニティの一部でもあります。この一員となるには、ある程度の慣れも必要ですが、フレンドリーな人々の間で心地よい場所を見つけることができるでしょう。

(3) 「Tools of the trade」を理解して、使いこなす

それぞれのタスクには異なるツールが必要です。単一のプログラミング言語やツールに縛られないでください。自分のやりたいことに使う、適切なツールは何かを理解してください。

(4) 学校で学んだことを活かす

英語はもちろんプログラミングにとって非常に重要な基本です。すべての必要な情報は、まず英語で利用可能になります。それが翻訳された時には、もう古くなっている可能性が大きいのです。

また、学校で学んだことを試して、プロジェクトにどのように適用できるか見てみましょう。

(5) 消費するのではなく、作る

最初の一步を踏み出す時には、チュートリアルに従いましょう。そして作ったものを変更して、まだ動くか確認し、学んだことを理解しているかチェックしましょう。

例えば、ロボットやドローンを持っているのなら、それでいろいろ遊ぶだけでなく、あなたや他の人にとって便利な機能とは何かを考えてみます。

(ボーナス) 忍者たちに将来の作業方法とspatial computingを紹介します。

何のために

現在:

- 素晴らしいことを達成する方法は出来るだけ限り楽しんで

未来的:

- デジタルテクノロジーを熟知する、何をどうやって使うと分かる、危険性を分かる

まず、楽しんでください。素晴らしいことを達成する方法はたくさんあります。それを見逃さないでください。

時間が経つにつれて、今日よりもこの先、さらにどこにでも存在するようになるデジタルテクノロジーを熟知することができるようになるでしょう。強みと弱み、特にテクノロジーの危険

性を簡単に認識し、それを使うべきかどうか、どのように使うのかについて情報に基づいた意思決定をします。

忍者はこれを自然に学べるはず。 「今日学ぶことを考えよう」というのではなく、自然にそれを実践して学ぶのです。

メンターの役割

行動を通してインスピレーションを与える

想像力を発揮できるよう促す

難しい段階を導く

次のような間違いに注意して

```
<a href='..'><h1 class='..'>太字のタイトル</h1></a>
```

これはメンターの大事な役割だと思います。上の部分は大事で、コーディングのことではありません。

だから、デザイナー、アーティスト、建築家、細工師とかメンターとして参加したら、凄いです。

そこにたどり着く方法

- 一人でではなく、一緒に

- 開放的で探究的な精神

- 間違いは問題ではありません。七頃日八置き

これはすべてCoderDojoに関する個人の考えに過ぎません。そこにどうやってたどり着くことができるのか、私にはまだわかりません。

賛成、反対？ Let's discuss

また、私が話したことのすべてについて、もっとお伝えしたいことが沢山あります。これが、時間の中でお話できるすべてです。さらに皆さんとお話できることを楽しみにしています。

もちろん、皆さんの考えにも興味があります。ご清聴ありがとうございました。

添付：



皆さん、こんにちは。Michael Vogtと申します、ドイツから来ました。これが私の故郷、Calwという町です。人口は25,000人ですが、学校に通った町、そして先頃滞在したドイツの町は人口がこれよりも少ない場所でした。このギャラリーでは、街の中心地、周囲の豊かな自然、そしてクリスマスマーケットのライトアップをご覧ください。そしてこの街で生まれた最も有名な人、Hermann Hesseの像です。ノーベル文学賞をとった方です。

ドイツについてもっとお知りになりたい場合は、どうぞご質問ください。

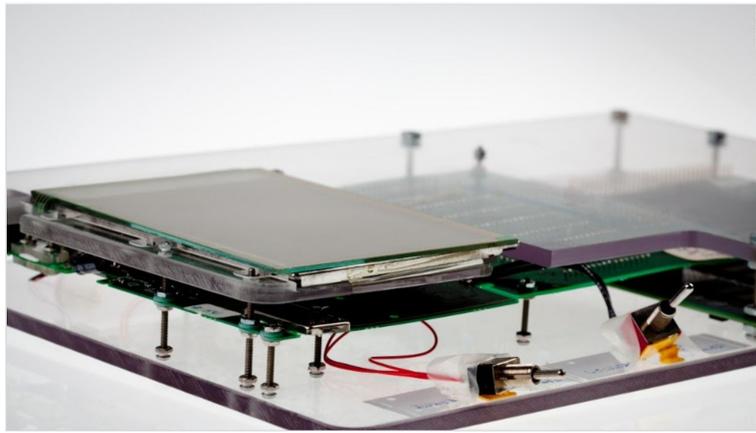


私は、前回東京でオリンピックが行われた1964年の生まれです。コンピューターなしで育ち、インターネットも、携帯電話もありませんでした。しかしながら、今日の素晴らしい技術がいろいろと生まれ出てきたその最中で、ビジネスライフを送ることができました。



誰か、このデバイスをご存知ですか？これはNewtonと言って1993年に発売されました。iPhoneよりもずっと前の話ですが、その後のモバイル機器の可能性を多く示していました。

そして、ご存知ですか？日本語バージョンのNewtonを開発していたシャープのチームメンバーが奈良のCoderDojoのメンターです。素晴らしいですね？



これが、ドイツに到着した最初のプロトタイプです。最終製品よりもはるかに興味深いですね？普通の使い方は難しいですが、そのまま開発するのは最高です。



そして、私は日本にすることが好きです。東京でも大阪でもなく、田舎にすることが好きなんです。生活を楽しむチャンスがいっぱいで、食べ物はすごく美味しいし、自然も豊かで、歴史や文化がまだ残っています。



2016年、私は島根県の大田市に行きました。世界遺産の石見銀山のある町です。ここでは、大部分の時間を、拡張現実を利用して、地域により多くの観光客を惹きつけ、その素晴らしい歴史を知ってもらう助けとすることについて、地元の人々を説得するために費やしました。

<https://youtu.be/IBeUz3e2NsE>

これは、私が大森でこの夏に作成した簡単なサンプルです。金森家で見つけたいくつかの遺物を示しています。この建物は一般公開されていないので、近くの広場で公開されています。いくつかのインタラクティブな要素のある釜場と、世界遺産センターの研究者によって作られたポスターがあります。

これについての詳細に興味をお持ちの場合は、是非お知らせください。

CoderDojoについて知り、日本にこんなに素晴らしいコミュニティがあることがわかって、すぐにすべてがあるべきところにおさまったのです。

CoderDojoを設立するためのその他の理由としては、島根県にあるRubyグループが挙げられます。名前が示す通り、彼らはRubyのみを扱います。CoderDojo宅野では、忍者は実際に可能なことをすべてなんでも体験することができます。

CoderDojoを開くことを可能にしてくれた、多くの人々に感謝しなければなりません。CoderDojo Japanの安川さん、奈良と広島CoderDojo、ドイツのカールスルーエ、スペインのセビリアにおけるCoderDojoのチャンピオンとメンターのみなさんです。

最後になりますが、私は勇気を持って宅野にてサポートいただいた方々に感謝したいと思います。